

総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度 認証制度に関する説明

2025(令和7)年1月31日

公益財団法人日本スポーツ協会
総合型地域スポーツクラブ全国協議会

1. 認証制度に関する説明

- ① 認証制度の概要について
- ② 部活動の地域展開タイプについて
- ③ 今後のスケジュールについて

2. 質疑応答

※ 質問はチャットで随時受け付けます。
(説明中でも構いません。)

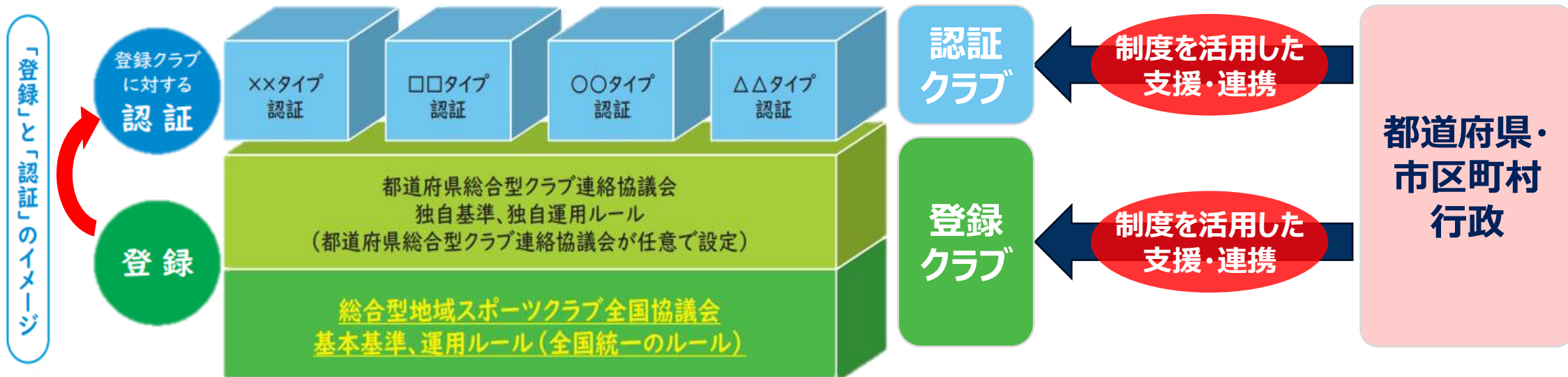
※ 説明会内で全ての質問に回答できなかった場合は、
後日、都道府県スポーツ協会・都道府県総合型クラブ連絡協議会
担当者その他、説明会出席者へ回答をお送りします。

▶ 認証制度の概要について

総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度とは？

<「登録」と「認証」>

- ➡日本スポーツ協会の組織内組織である総合型地域スポーツクラブ全国協議会(SC全国ネットワーク)が統括し、都道府県行政、都道府県スポーツ協会、都道府県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会と共に、登録・認証制度という一つの共通理解を基に役割分担した上で運用する制度。
- ➡全国的な総合型クラブの質的充実や質的向上を目的とした「**登録**」と、登録クラブがその特徴を活かし、更なる発展や成長を目指すことを目的とした「**認証**」という二階建ての制度構造により、地域スポーツ環境の整備・発展に寄与することを目指す。



参考：総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度概要リーフレット ➡ <https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/tourokuninnsyouseido/leaflet/leaflet.pdf>

認証制度とは？

<認証制度について>

◆制度概要

◎ 地域課題の解決や、地域スポーツ環境の発展に繋がるタイプ認証を用意し、タイプ別の認証基準を具備していると認められる登録クラブを認証する制度。登録クラブが自らの希望により申請するもので、複数タイプの認証も可。

◆認証制度に関する規程等(令和7年4月1日施行)

- ・タイプ別認証規程(資料No.2)
- ・タイプ別認証審査・認定細則(資料No.3)
- ・タイプ別認証基準細則(資料No.4)

◆申請条件

- ① 登録クラブであること
 - ② 総合型クラブとして法人格を有していること
- ※ その他、タイプ別認証ごとに申請条件を設ける場合がある。

◆タイプ別認証の種類

部活動の地域展開タイプ
※令和7年度から運用開始

部活動の地域展開において、地域スポーツクラブ活動の運営団体を担う資質を持った登録クラブを認証し、子どもたちの地域スポーツ環境の整備を促進する認証タイプ。

介護予防タイプ
(検討中)

介護予防を目的とした活動を実施する登録クラブを認証し、地域住民に対するスポーツを通じた健康づくりや健康増進、介護予防の発展・拡大を促進する認証タイプ。

障がい者のスポーツ推進タイプ
(検討中)

障がい者のスポーツ環境の充実に取り組む登録クラブを認証し、障がい者がスポーツを行う場の提供や、スポーツを楽しめる環境の整備を促進する認証タイプ。

認証制度の在り方：

▶登録クラブの更なる発展や成長を促し、支えていくための制度として、登録クラブが自らの希望により申請するもの

ターゲット

◎タイプ別認証の分野に取り組んだ実績があり、更なる発展を目指す登録クラブ

(例)部活動の地域展開タイプ

部活動の地域展開において、地域スポーツクラブの運営団体としての実績があり、自クラブが主体となって、地域展開の範囲を拡大することを目指しているクラブ

基準のポイント

◎タイプ別認証の分野に必要となる、組織としての資質を評価する

(例)安全安心な／持続可能な運営・活動を行うための仕組みや体制が整備/計画されているか

(例)活動・取組に必要となる専門知識／技能を持つ人員配置やリスク対策等を講じているか 等

メリット

◎行政や各タイプ別認証分野の関係団体との連携強化・促進

⇒補助金／助成金／事業受託の獲得・継続 等

◎認証申請が自己点検機会となり、質的向上に繋がる

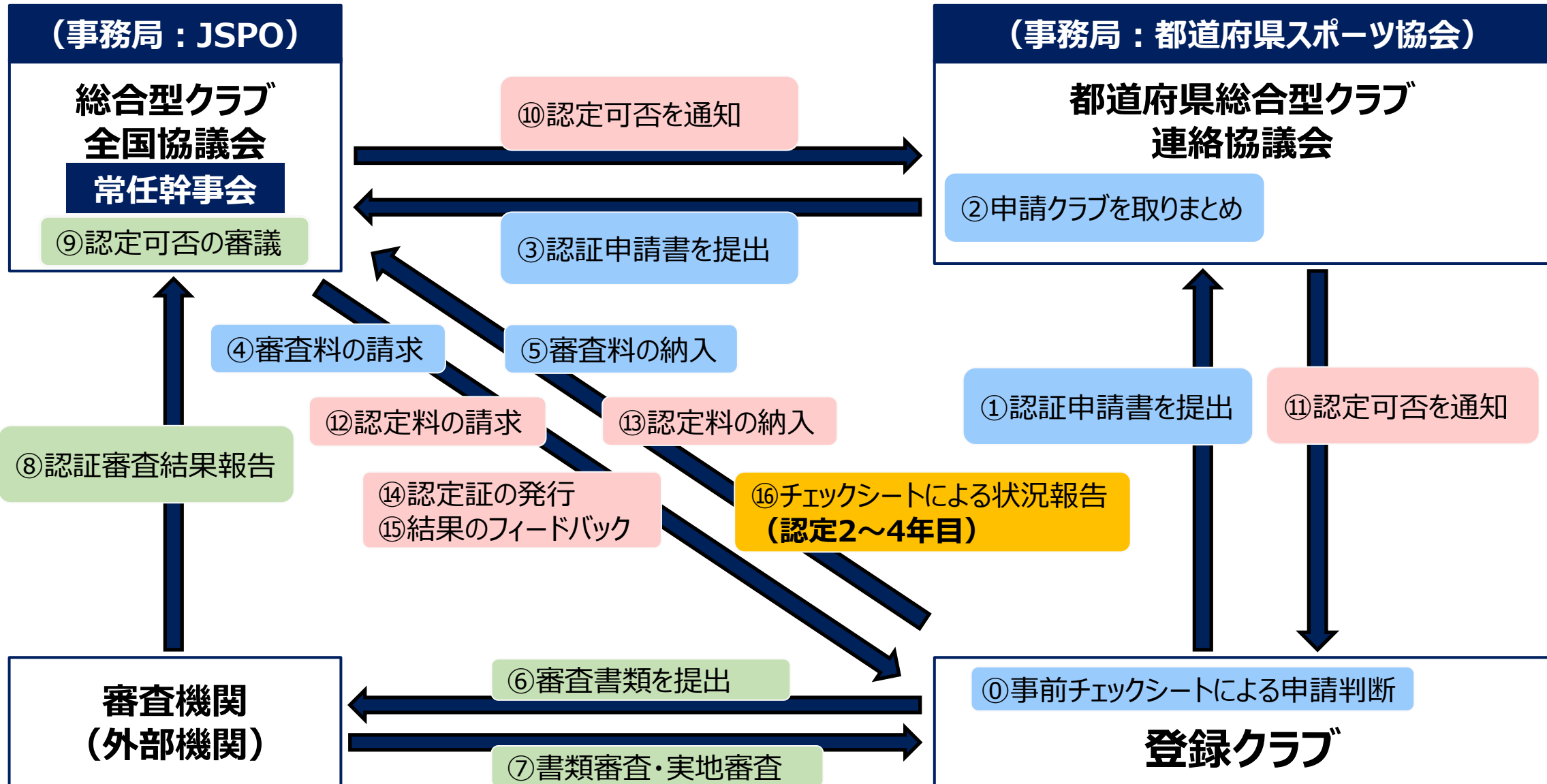
◎認証クラブ同士でのネットワークが広がる 等

制度の発展

◎地域課題の解決や地域スポーツ環境の発展に寄与できるタイプ別認証の種類を増やし、様々な登録クラブが特徴を活かして発展・成長することができる制度へ

◎認証により更に活動・取組が発展したクラブの事例を発信・共有することで、認証を目指すクラブが増え、登録クラブ全体の質的向上につながる制度へ

認証制度の手続きフロー



認証審査料・認定料について

◆ 認証費用の内訳

① 審査料

クラブが負担する費用：30,000円(税抜)／1タイプ

JSPPOが負担する費用：約17万円(税抜)
 ※国庫補助金(地域のスポーツ環境基盤強化)を充当

1クラブあたりの認証審査費用：約20万円(税抜)



審査機関の業務内容
クラブへのコンタクト (提出に関する問い合わせ対応等)
事務局間打合せ
審査
・審査様式への落とし込み
・エビデンス資料確認
・書類審査

② 認定料

認定「可」となったクラブ

認定料：10,000円(税抜)／4年



- ※認定料は、以下の用途を予定
- 認証クラブのネットワーク化
 - 認証クラブの事例収集・発信
 - 認証制度の普及・発展施策 等

事前チェックシート

▶『**認証申請書**』を提出する前に、**クラブ自身で必ず全ての認証基準を満たしているかどうかの事前チェック**を行うもの。

→**事前チェックシートは、都道府県総合型地域クラブ連絡協議会への提出は不要。**

▶**全てのチェック項目において『○』となった場合、申請手続き(認証申請書の提出)に進むことが可能。**

※1つでも当てはまらない(×がある)場合は、**審査の結果、認定されない可能性が高いため、認証申請を見送ること推奨。**
 ※『○』を付けても、**審査における『認定』を約束するものではない。**

▶各チェック項目において、**確認漏れが無いよう注意。**

▶最下部の『**チェック結果**』に申請可否が表示されます。

①申請条件と認証基準のチェック項目が全て『○』

→『**認証申請書の提出が可能です**』

②申請条件のチェック項目に1つでも『×』がある

→『**申請条件を満たしていないため、申請不可です**』

③認証基準のチェック項目に1つでも『×』がある

→『**満たしていない基準があるため、申請の見送りをご検討ください**』

総合型地域スポーツクラブ認証制度【部活動の地域展開タイプ】 ＜事前チェックシート＞		説明会用・参考資料No.1
<p>【注意事項(必ずご確認ください)】 ☆本タイプ別認証に申請を希望する場合は、『認証申請書』を提出する前に、必ず本チェックシートにて全ての認証基準を満たしているかどうかのチェックを行ってください。 ☆認証基準の対象とする活動は、部活動の地域展開における「地域スポーツクラブ活動」です。 ☆全ての認証基準において○となれば、申請手続き(認証申請書の提出)に進むことができます。 ※1つでも当てはまらない(×がある)場合は、認証申請をいたしても、審査の結果、認定されない可能性が高いため、認証申請を見送ることを推奨します。 ※「×」が付いた項目について改善を図った上で、次年度以降の認証申請をご検討ください。 ※本チェックシートに○を付けても、審査における「認定」をお約束するものではありません。</p>		
●申請条件に関するチェック		
① 登録クラブである	チェック項目	チェック欄
② 総合型クラブとして法人格を有している		
③ 部活動の地域展開において、地域スポーツクラブ活動の運営団体を担っている ※運営団体の各競技種別等の地域スポーツクラブ活動を統括する役割		
●認証基準に関するチェック		
① クラブの活動方針・活動計画等が、スポーツ庁や都道府県・市町村(特別区は市町村に準ずる)が定めるガイドライン等に準拠している。	<p>(1) クラブが運営団体を担っている地域スポーツクラブ活動において、以下のいずれかの部活動/地域クラブ活動等に関するガイドラインに準拠している。 ※各も選択する場合、ガイドラインが掲載されているHPのURLやデータを提供できる。 A:スポーツ庁が発出しているガイドライン B:都道府県が発出しているガイドライン C:市町村(特別区は市町村に準ずる)が発出しているガイドライン</p> <p>(2) 「(1)」で実施しているガイドラインの内容を踏まえて、クラブが運営団体を担っている地域スポーツクラブ活動における活動方針(活動時間・休養日の設定等)を定めている。</p> <p>(3) 「(2)」の内容が確認できる任意の1項目(活動の活動計画(活動時間・活動日がわかるもの/月単位以上))を提供できる。</p>	チェック欄
② 参加者のニーズ等を把握し、活動に反映する仕組みや体制がある。	参加者や保護者のニーズ等を把握している。または今後把握する予定があり、具体的な把握方法を検討している。	
③ 適切な指導を行うために、指導者の質を確保している。	<p>クラブが担っている地域スポーツクラブ活動において配置する指導者に対し、JSPO公認スポーツ指導者資格等(※1)の保有を義務付けている。 ▼「はい/いいえ」の両方の場合には必ず両方を満たしているかチェックしてください。</p> <p>A:資格保有者(申請年度中に資格登録申込みの者も含む)が指導者として配置されている。 ※なお、資格未取得の指導者がある場合は、以下のいずれかを満たしている。 ① 専任または専任に近い指導者として、指導者としての業務に専念している。 ② 年度内に資格取得のための養成講習会の受講を義務付けている。 ※資格未取得の指導者に対し、行政・スポーツ協会・大学等の指導者研修等(※2)の受講を義務付けている。</p> <p>B:JSPO公認スポーツ指導者資格等(※1)の保有を義務付けていない場合は、行政・スポーツ協会・大学等の指導者研修等(※2)の受講を義務付けている。</p> <p>※1:資格は以下のいずれかとする 1:JSPO公認スポーツ指導者資格 2:JSPO以外のスポーツ団体が定める指導者資格 例)JSPO公認スポーツ指導者養成講習会の専門科目が免除となる資格、中央競技団体が認定する基礎資格(サッカーD級、バスケボールD級等)より上に関する資格等 ※教員免許は含まれません。 ※2:部活動指導や地域スポーツクラブ活動の指導に関する研修等</p>	<p>はい いいえ</p>
④ 自治体や学校との連携が図れている。	自治体や学校と連携(※1)しており、連携先との関係性がわかる資料が提出できる。または具体的な連携内容について図解できる。 ※例)自治体・市町村から、部活動の地域展開における地域スポーツクラブ活動の運営団体を委嘱されている。 ※例)自治体・市町村から補助を受けて、部活動の地域展開における地域スポーツクラブ活動の運営団体の役割を担っている。 ※例)学校・市の部活動の地域展開における地域スポーツクラブ活動の運営団体として、●中学校と○○〇等の連携・調整を図っている。	
⑤ 運営に必要な連絡系統を整備している。	参加者・保護者とクラブ間での連絡体制が構築されており、参加者/保護者との連絡を行うにあたってトラブル回避のためのルールや注意事項等を設定している。またはする予定である。	
⑥ 継続して運営活動を行うために、適切な収支計画を立てている。	クラブが運営団体を担っている地域スポーツクラブ活動の4年間の収支計画に関する展望があり、それに基づき収支計画を作成できる。	
⑦ 安全・安心な活動を確保するための方針や体制を整えている。	<p>(1) 日頃の地域スポーツクラブ活動において、以下3つの各項目に関する安全管理体制(備)が、このような安全管理を行う方について、明記された資料が提出できる。または説明できる。 A:施設・用具の確保 B:参加者の健康状態の把握 C:自然条件(天候・気温等)への対応</p> <p>(2) 緊急事態発生時の対応方針がわかる資料(緊急時のマニュアル・フロー・連絡体制など)を提供できる。</p>	
⑧ クラブが、参加者の怪けや活動中の事故等に備え、加入したリスクマネジメントのために、必要な保険に加入している。	<p>(1) 地域スポーツクラブ活動が対象となる傷害保険・賠償責任保険・加入者全員が加入(クラブ前での加入、個人加入かは問わない)していることを確認している。 また、以下の2つの根拠資料を提出できる。 A:参加者に対して傷害保険・賠償責任保険への加入を義務付けていることがわかる資料(参加者募集要項、入会/参加申込時資料等) B:クラブが加入している参加者の傷害保険・賠償責任保険の保険証券等の写し ※参加者全員が個別に傷害保険・賠償責任保険に加入しており、クラブ間で参加者の傷害保険・賠償責任保険に加入していない場合を除く</p> <p>(2) 地域スポーツクラブ活動が対象となる傷害保険・賠償責任保険・加入者全員が加入(クラブ前での加入、個人加入かは問わない)していることを確認している。 また、以下の2つの根拠資料を提出できる。 A:指導者に対して傷害保険・賠償責任保険への加入を義務付けていることがわかる資料(指導者募集要項、依頼時の通知文書、契約書等) B:クラブが加入している指導者の傷害保険・賠償責任保険の保険証券等の写し ※指導者全員が個別に傷害保険・賠償責任保険に加入しており、クラブ間で参加者の傷害保険・賠償責任保険に加入していない場合を除く</p> <p>(3) クラブとして地域スポーツクラブ活動が対象となる賠償責任保険に加入しており、保険証券等の写しを提出できる。</p>	
チェック結果	<p>認証申請書の提出が可能です /申請条件を満たしていないため、申請不可です /満たしていない基準があるため、申請の見送りをご検討ください</p>	

認証申請書

▶ 都道府県総合型クラブ連絡協議会へ提出する申請書

※事前チェックシートにおいて全チェック項目が『○』だった場合は申請可能。

▶ 記入項目

- ◎ 申請タイプの選択
- ◎ 申請クラブ情報
- ◎ 申請担当者情報
- ◎ 同意・誓約の署名

▶ 申請の流れ

① 事前チェックシートによる申請判断 (申請クラブ)

① 認証申請書の提出 (申請クラブ ⇒ 都道府県連絡協議会)

※提出期限・提出方法は各都道府県でご検討をお願いします。

② 申請クラブをとりまとめ (都道府県連絡協議会)

③ 認証申請書の提出 (都道府県連絡協議会 ⇒ 全国協議会)

※提出方法はメールでの提出を想定。

※令和7年度申請の提出期限は5月末を予定。

※必ず当該年度登録クラブであることを確認の上、全国協議会にご提出ください。

年 月 日

令和7(2025)年度
総合型地域スポーツクラブ全国協議会 認証申請書

公益財団法人日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会
幹事長 渡邊 優子 様

クラブ名 ●●クラブ
代表者役職 氏名●●●●

本クラブは、下記のとおり公益財団法人日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会の認証タイプに申請いたします。

記

申請タイプに○印	
1. 部活動の地域展開タイプ	

1. 申請クラブ情報

都道府県名			
クラブ名			
登録 ID			
フリガナ 代表者 氏名		代表者役職	

2. 申請担当者情報

フリガナ 申請担当者 氏名		クラブでの役職	
TEL		E-mail	

3. 同意・誓約

下記に記載の各事項について、同意および誓約する場合は、署名欄に代表者氏名を署名してください。

【個人情報の取り扱いについて】
公益財団法人日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の認証申請手続により取得した個人情報の取り扱いは、別に定める「公益財団法人日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ登録認証制度登録クラブ個人情報の取り扱いについて」に基づくことに同意します。

【審査料および認定料の納入について】
・本申請にあたり、審査料 30,000 円(税抜)について、別途案内される期日までに納入することに同意します。
・納入後の審査料については、返金されないことについて同意します。
・審査結果により認定された場合、認定料 10,000 円(税抜)について、別途案内される期日までに納入することに同意します。

【申請に係る提出書類および様式回答内容について】
・本申請に係る提出書類および様式回答内容について、『公益財団法人日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会 登録規程』の第 9 条〔遵守事項〕(3)に従い虚偽の内容が含まれていないことを誓約いたします。
・虚偽の内容があった場合、申請または認定は取り消され、その時点までに納入した審査料および認定料について返金されないことについて同意します。

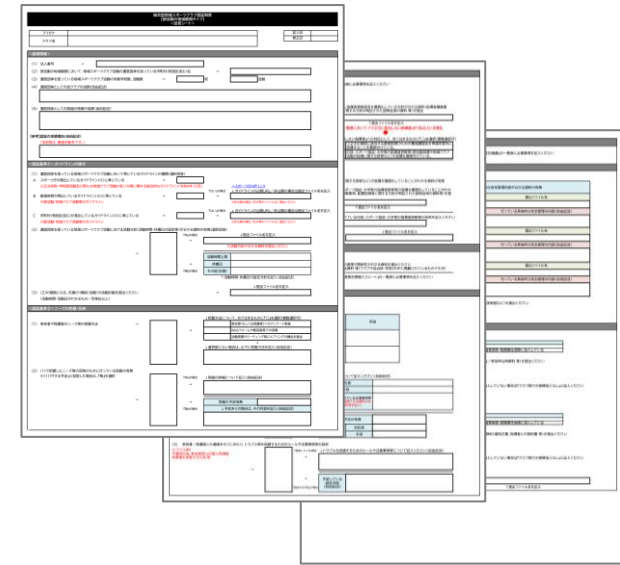
署名欄

審査に係る提出物

◎申請クラブは、以下の提出物を審査機関に提出する。

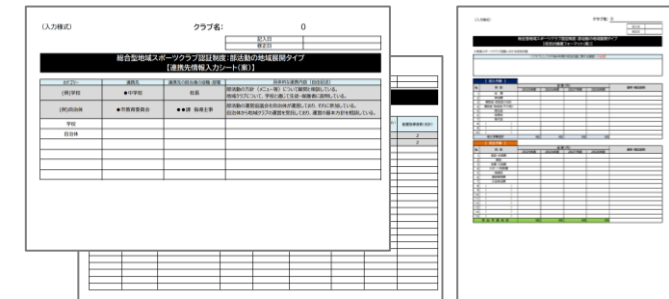
【回答シート】：基礎情報および各認証基準ごとに設定された設問に回答するシート

- ▶設問により指定された回答方式（選択回答や自由記述等）にて回答
- ▶回答が必要なセルにはハイライトされるよう設定予定
→選択回答の場合、選択した回答ごとに、その後の回答先がわかるよう設定予定
- ▶すべて回答が完了(ハイライトがなくなった状況)したら、審査機関に回答シートを提出することが可能。



【提出様式】：一部の基準に設定された提出様式

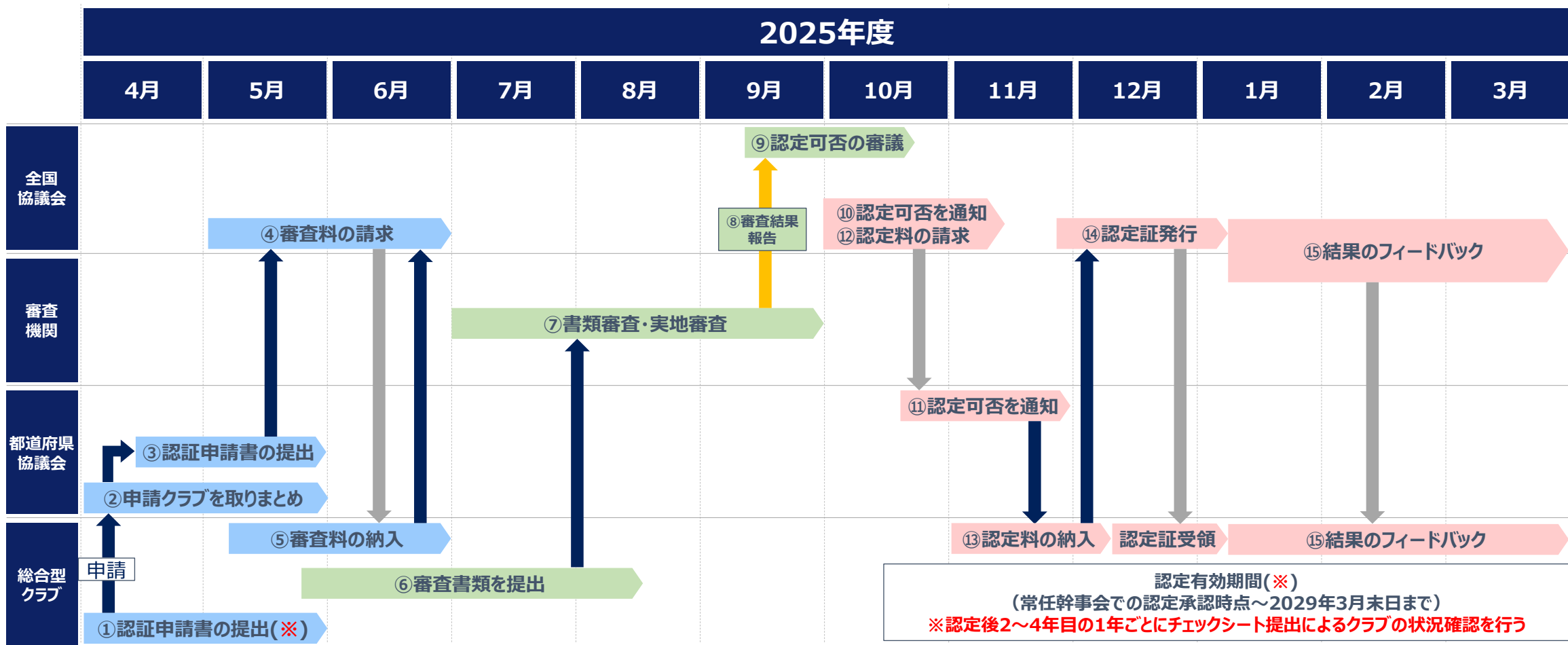
※部活動の地域展開タイプでは、基準③(1)、基準⑥で提出必須、基準④では回答した選択肢により提出が必要となる場合がある。



【その他エビデンス資料】

- ▶回答シートの設問において、回答した内容を裏付けるエビデンス資料の提出を求める場合がある。
- ▶回答シートには提出ファイル名を記入し、提出を求められた資料は審査機関へPDF等のデータ形式で提出。

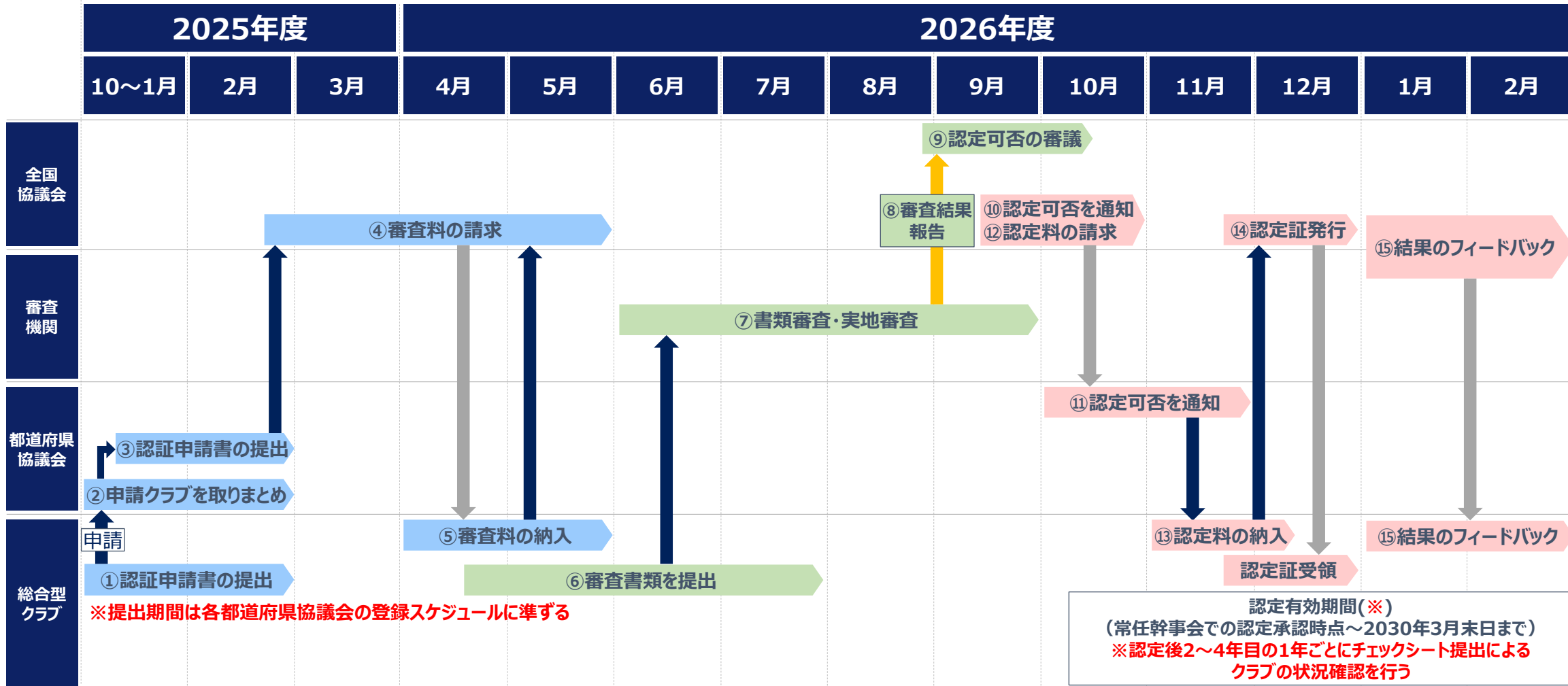
2025年度申請手続きスケジュール



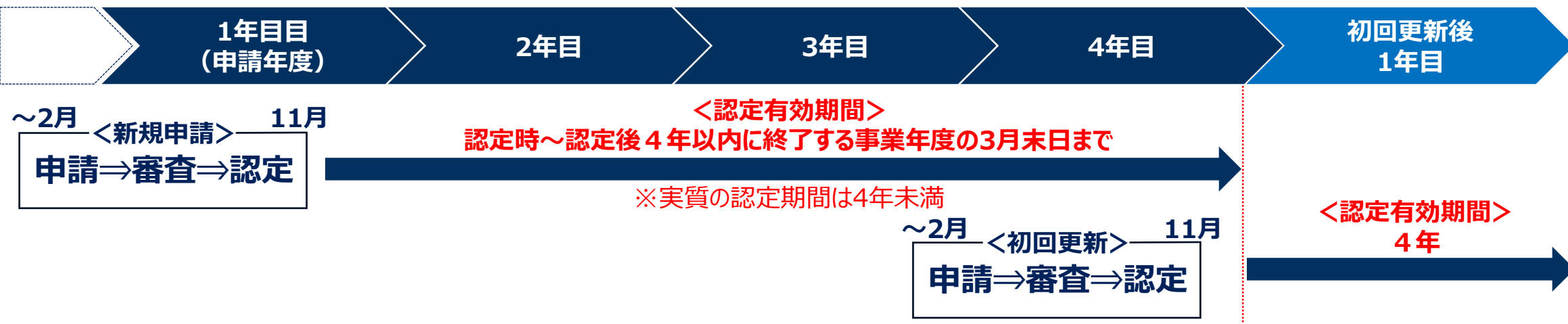
※クラブからの提出期間は各都道府県協会にて設定ください

2026年度以降の申請手続きスケジュール（案）

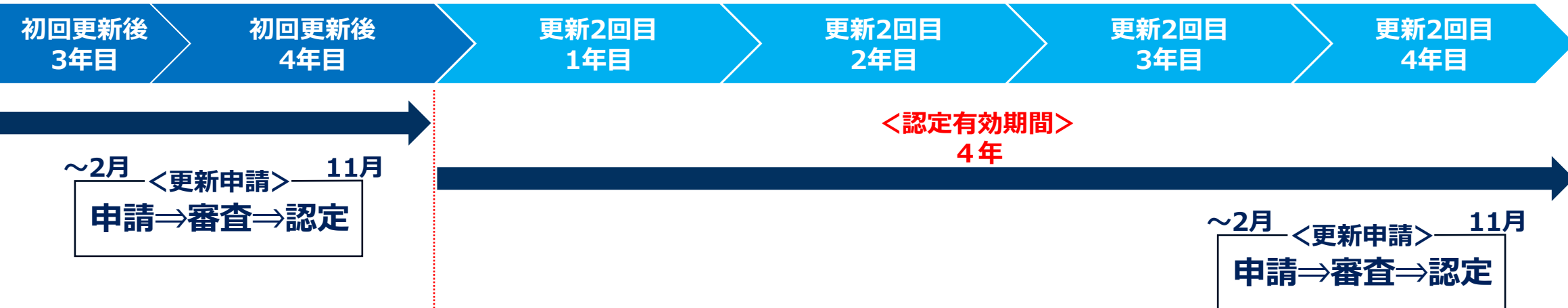
(例)2026年度の場合



新規申請～初回更新まで



初回更新以降



▶ 部活動の地域展開タイプについて

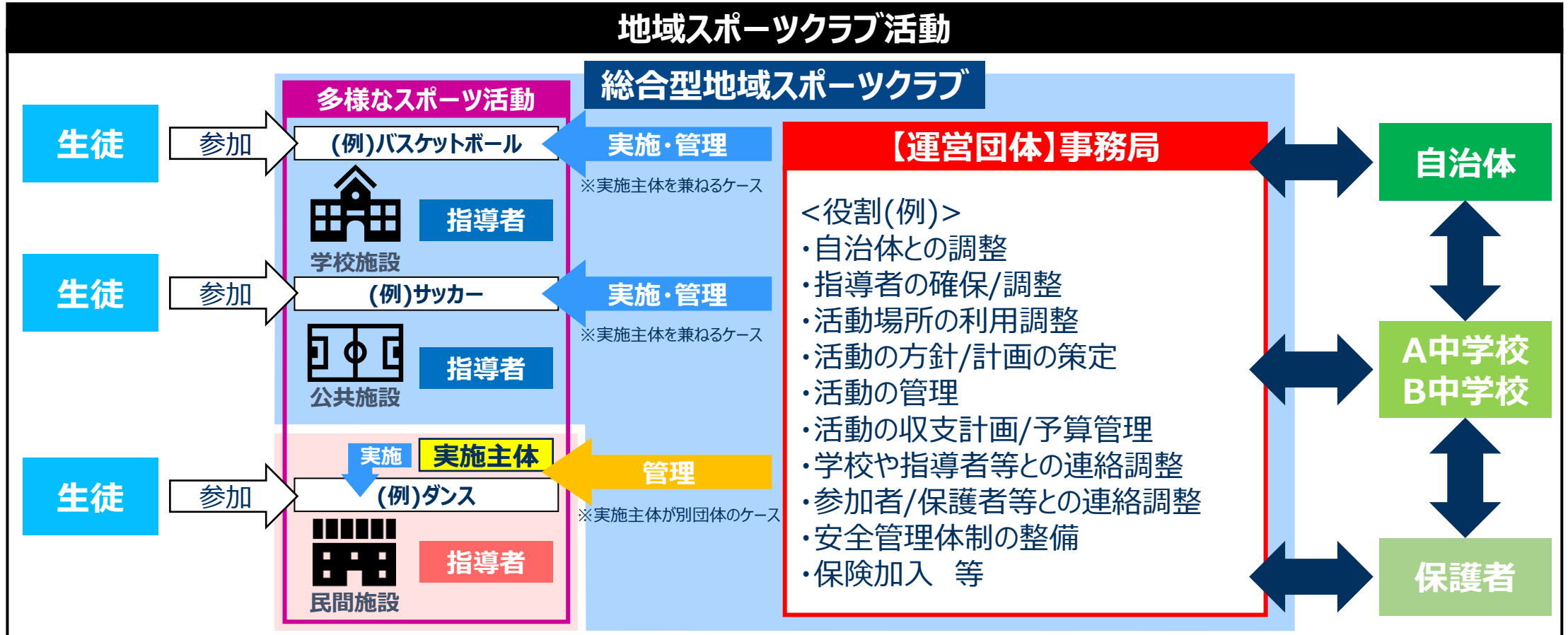
認証申請条件（部活動の地域展開タイプ）

◆ 認証申請条件

- ① 登録クラブであること
- ② 総合型クラブとして法人格を有していること
- ③ 部活動の地域展開における、地域スポーツクラブ活動の**運営団体(※)**を担っていること

※運営団体：各競技種目等の地域スポーツクラブ活動の全体を統括し、事務局として下のイメージ図のような役割を担う団体

◆ 総合型地域スポーツクラブが運営団体を担う場合の体制イメージ図（地域の実状に応じて体制が異なる場合があります）



大項目	小項目	No.	認証基準
活動の質	ガイドラインの遵守	①	クラブの活動方針・活動計画等が、スポーツ庁や都道府県・市町村(特別区は市町村に準ずる)が定めるガイドライン等に準じている。
	ニーズの把握・反映	②	参加者のニーズ等を把握し、活動へ反映する仕組みや体制がある。
	指導の質の確保	③	適切な指導を行うために、指導者の質を確保している。
連絡・連携体制	関連団体との連携	④	自治体や学校との連携が取れている。
	連絡体制の確立	⑤	運営に必要な連絡システムを整備・管理している。
活動の継続性	収支計画の策定	⑥	継続して運営・活動を行うために、適切な収支計画を立てている。
リスクマネジメント	安全管理体制の確立	⑦	安全・安心な活動を提供するための方針や体制を整えている。
	保険の加入	⑧	クラブが、参加者等の怪我や活動時の事故等に備えたリスクマネジメントのために、必要な保険に加入している。

大項目：活動の質

小項目：ガイドラインの遵守

認証基準	確認したいポイント	提出書類
① クラブの活動方針・活動計画等が、スポーツ庁や都道府県・市町村（特別区は市町村に準ずる）が定めるガイドライン等に準じている。	<ul style="list-style-type: none"> ● ガイドラインに沿って活動方針・活動計画を立てているか。 ⇒どのガイドラインに準じているかを確認 ● ガイドラインに沿った活動時間・休養日を設定しているか。 	○回答シート (1)クラブが準じているガイドラインの種類 ※必要に応じ、回答したガイドラインのURLやPDF等を併せて提出 (2)クラブの活動方針の有無 有→活動方針を提出 無→活動時間・休養日の設定方針を回答 ○任意の1種目の活動計画

大項目：活動の質

小項目：ニーズの把握・反映

認証基準	確認したいポイント	提出書類
② 参加者のニーズ等を把握し、活動へ反映する仕組みや体制がある。	<ul style="list-style-type: none"> ● 参加者や保護者のニーズ等を把握し、活動に反映する仕組みや体制をどのように整えている／備えているか。 	○回答シート (1)参加者や保護者のニーズ等の把握方法（選択／記述） (2)ニーズの反映のために行っている仕組みや取組の有無 有→仕組みや取組の詳細を回答（自由記述） 無→仕組みや取組の予定/計画の有無を選択 ※有の場合はその内容を記述

大項目：活動の質

小項目：指導の質の確保

	認証基準	確認したいポイント	提出書類
③	適切な指導を行うために、指導者の質を確保している。	<ul style="list-style-type: none"> ● JSPO公認スポーツ指導者資格等の資格保有者(※)を配置しているか。 ※資格保有者は以下のいずれかに該当する者とする ① JSPO公認スポーツ指導者資格保有者 ② JSPO以外のスポーツ団体が定める指導者資格保有者 ③ ①②に類する資格等の保有者 ※資格保有者の配置が難しい場合は、行政等の指導者研修等(部活動指導や地域クラブ活動の指導に関する研修など)の受講を義務化しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○回答シート (1)種目ごとの指導者人数一覧 (2)指導者に対してJSPO公認スポーツ指導者資格等を保有していることを義務化しているか(選択) している →配置する指導者に指導者資格保有を義務化している方針が分かる資料を提出 例)指導者募集要項、指導者に関する方針が明記された説明会用の資料 していない→(3)へ (3)A：クラブが指導者に行政等の指導者研修等の受講を義務化していることがわかる資料の有無 有：資料の提出 無：無資格指導者に義務付けている行政等の指導者研修等の名称を回答 B：無資格指導者に義務付けている行政等の指導者研修等の開催要項等

大項目：連携・連絡体制

小項目：関連団体との連携

	認証基準	確認したいポイント	提出書類
④	自治体や学校との連携が取れている。	<ul style="list-style-type: none"> ●自治体や学校と連携した上で活動しているか。 ※自治体とは「学校設置者」のことを指す 	<ul style="list-style-type: none"> 回答シート ○自治体や学校との連携や関係性がわかる資料の有無 ※相関図や連携体制図、説明会用の資料、提案資料 等 有→資料を提出 無→連携している自治体・学校の情報について記入

大項目：連絡・連携体制 小項目：連絡体制の確立

	認証基準	確認したいポイント	提出書類
⑤	運営に必要な連絡システムを整備・管理している。	<ul style="list-style-type: none"> ●クラブの活動に必要な情報を、必要とする関係者に対して双方向に伝達できる連絡システムを整えているか。 ●連絡に用いる手段・運用体制が適切であるか。 	<p>○回答シート</p> <p>(1)以下2つの項目に対する連絡体制（自由記述） A：参加者／保護者への活動の中止や変更等の事務連絡 B：参加者／保護者からの欠席連絡</p> <p>(2)参加者／保護者からの活動に対する意見・要望・相談への体制の有無(選択) 有→連絡体制の詳細について回答(自由記述) 無→体制構築予定の有無(選択) ※予定ありの場合はその詳細について回答</p> <p>(3)参加者／保護者との連絡を行うにあたり、トラブル等を回避するために決めているルールや注意事項等の有無(選択) 有→ルールや注意事項等について回答(自由記述) 無→設定予定の有無(選択) ※予定有の場合はその内容を回答</p>

大項目：活動の継続性 小項目：収支計画の策定

	認証基準	確認したいポイント	提出書類
⑥	継続して運営・活動を行うために、適切な収支計画を立てている。	●継続した取り組みとするために、収支計画による見通しが立てられているか。	<p>○収支計画書(指定フォーマット)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラブとしての今後4年間の収支計画に関する展望(自由記述) ・該当する事業の、申請年度を含めた今後4年間の収支計画書

大項目：リスクマネジメント 小項目：安全管理体制の確立

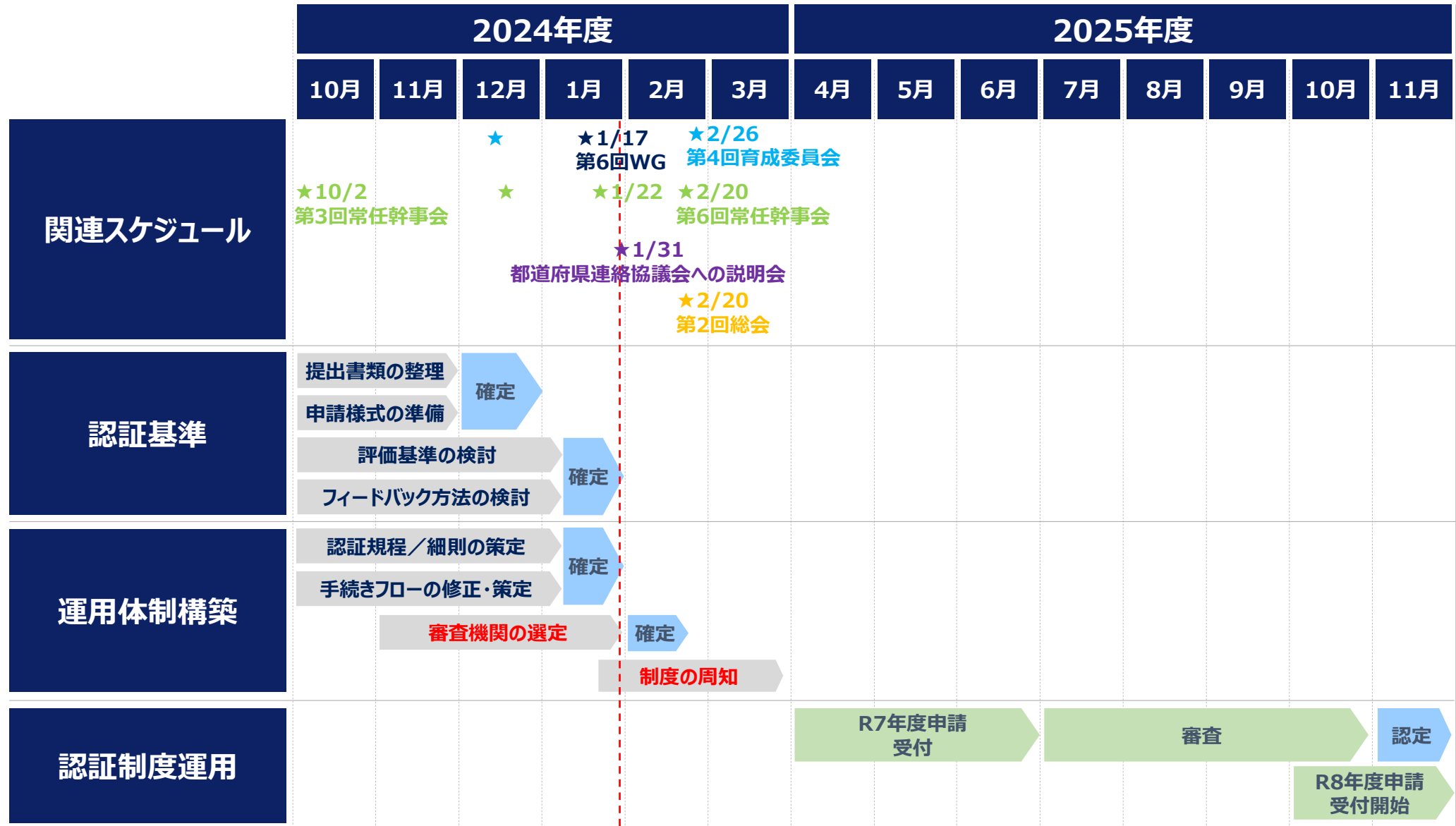
	認証基準	確認したいポイント	提出書類
⑦	安全・安心な活動を提供するための方針や体制を整えている。	<ul style="list-style-type: none"> ● 日常活動時の安全管理のために、どのような体制を整えているか。 ● 緊急事態発生時の対応を適切に行うために、どのような方針や体制を整えているか。 	○ 回答シート (1) 日常の地域クラブ活動時における以下3つの項目への安全管理体制 A: 施設・用具の確認 B: 参加者の健康状態の把握 C: 自然条件(天候・気温 等)への対応 ○ 緊急事態発生時の対応方針がわかる資料 (緊急時のマニュアル・フロー・連絡体制図など)

大項目：リスクマネジメント 小項目：保険の加入

	認証基準	確認したいポイント	提出書類
⑧	クラブが、参加者等の怪我や活動時の事故等に備えたリスクマネジメントのために、必要な保険に加入している。	<ul style="list-style-type: none"> ● すべての参加者・指導者が地域スポーツクラブ活動を対象とした傷害保険・賠償責任保険に加入しているか。 ● クラブが賠償責任保険に加入しているか。 	○ 回答シート (1) 参加者の傷害保険・賠償責任保険加入について(選択) (2) 指導者の傷害保険・賠償責任保険加入について(選択) ○ (1)の根拠資料 A: 加入を義務付けていることがわかる資料(参加者募集要項、入会／参加申込時資料等) B: 保険証券 等 ○ (2)の根拠資料 A: 加入を義務付けていることがわかる資料(指導者募集要項、依頼時の通知文書、契約書等) B: 保険証券 等 ○ クラブの賠償責任保険における保険証券等の写し

▶ 今後のスケジュールについて

認証制度(部活動の地域展開タイプ)の 運用開始に向けたスケジュール



◎ **登録クラブや連絡協議会関係者等への認証制度に関する周知をお願いします。**

※本説明会用の資料を使用・展開いただけますのでご活用ください。

※本説明会のアーカイブ動画も2月7日(金)までにお送りいたしますのでご活用ください。

＜周知にあたって必ずお伝えいただきたい事項＞

- ・認証制度は、登録クラブが自らの希望により申請するものであること
- ・申請条件や手続きフローなど、申請にあたっての必要情報
- ・申請を検討している登録クラブがいる場合、必ず事前チェックシートで申請可否を確認いただくこと
- ・令和7年度のスケジュールはイレギュラー(4月より受け付け開始)であること

◎ **登録制度も含めた制度の活用をご検討いただけるよう、都道府県行政等への情報共有もお願いします。**

※昨年10月24日付送付の登録・認証制度の行政向け説明資料も併せてご活用ください。

☆HP掲載中→ 掲載ページ：[総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度とは - JSPPO](#)

掲載資料：[総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度 行政向け説明資料](#)

◎ **登録クラブ向けに申請手引きを作成し、公開する予定です。(3月上旬予定)**

◎ **登録クラブから本説明会内容以外のご質問等で回答できない内容がある場合は、クラブ育成課までお問合せください。**